

# TOHATSU

# PARTNER

2016年4月1日発行 / 春号

# VOL.98



Photo: 2016ジャパンインターナショナルボートショー in 横浜

## CONTENTS

- 日向社長 大東文化大学「企業と経営者」講演 ..... P2
- 東北トーハツポンプ会冬季総会 ..... P6
- 東京商工会議所板橋支部青年優秀技能者・技術者を表彰 ..... P2
- 滋賀県甲賀市消防団様駒ヶ根工場視察 ..... P7
- いたばしプロレスリング小豆沢商会大会 ..... P2
- (一社)損害保険協会軽消防自動車寄贈 ..... P7
- 芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース開催 ..... P3
- 和歌山市消防団向け VF53AS 7台口の納入 ..... P7
- 2016 ジャパンインターナショナルボートショー in 横浜 ...P4~5
- 救急・救助関連のプロツールを展示 ..... P7
- 秋の商談会(有)ボートの新福商会様 ..... P6
- 総務省消防庁向け車両納入 ..... 裏表紙
- 新春総合展示 対馬農業協同組合様 ..... P6
- 小型動力ポンプ付資機材車を納入 ..... 裏表紙
- 山形市消防団研修会 ..... P6
- 佐渡市2,500L水槽車納入 ..... 裏表紙

## 大東文化大学経営学部「企業と経営者」講演

平成 27 年 12 月 17 日（木）、大東文化大学経営学部「企業と経営者」の授業において日向社長が「経営者は何を考えているのか」というテーマで経営戦略に関する講義を行いました。講義の主旨は、現職の経営者から経営戦略の講義を受け、日々勉強している経営学に関する知識を深めるとともに企業人としての知識をつけてもらうことが狙いとされています。

当日は受講者 200 名以上の学生に対し、当社のマリン事業・防災事業に関する紹介、そして特にマリン事業に関するビジネススキームを実態に即した形で紹介しました。

併せて、社長自身の就職活動時の経験や現在の採用する立場の視点でのアドバイスを含めた内容となり、後日学生から「内容が興味深く印象に残った」という声やビジネススキームの展開方法に関する質問が寄せられました。（総務部/渡邊）



### 東京商工会議所板橋支部 青年優秀技能者・技術者を表彰

## トーハツの東畑・小椋の両氏が晴れの受賞

東京商工会議所板橋支部（会長/吉村健正氏）の平成 28 年新年賀詞交歓会が、去る 1 月 28 日（木）、来賓者多数出席のもと東京・池袋のホテルメトロポリタンで開催されました。

第一部（式典）の中で第 9 回目を迎えた板橋青年優秀技能者・技術者表彰が行われ、トーハツから技術部の東畑匡哉氏、駒ヶ根工場の小椋久貴氏がめでたく受賞。板橋区の優秀技能者・技術者の栄誉に輝きました。

この表彰は、製造業に従事する優れた青年技能者や技術者を讃えることで、技能者・技術者としての誇りと意欲を高め、将来、板橋区の産業基盤を支える後継者として一層の技能・技術の向上を図ろうとするものです。この度表彰された両氏は、船外機の開発、可搬消防ポンプの製造に携わっており、高品質の製品を供給すべく日々の研鑽に努めています。

閉会后、トーハツ日向社長や矢内常務らと記念撮影。喜びを噛みしめていました。この度の受賞、誠にありがとうございます。（総務部/千葉）

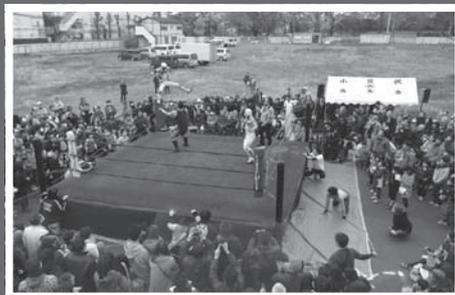


東畑匡哉さん（技術部） 小椋久貴さん（駒ヶ根工場）



日向社長、矢内常務、工藤取締役、松原工場長とともに記念撮影

## いたばしプロレスリング小豆沢商友会大会



師走に入り、寒さが一段と厳しくなった昨年 12 月 6 日（日）、トーハツ（株）本社棟アスファルト部分に特設リングが設置され、いたばしプロレスリング小豆沢商友会大会が開催されました。

このイベントは、小豆沢商友会（商店街）のイベントを近隣協力として、当社の敷地にて実施されました。

当日会場には商店街と菜な笑・ナターレから軽食販売を出店、特設リングではキッズダンス、アフリカ太鼓演奏、お笑いライブ、そして「いたばしプロレス」による子どもプロレス教室と試合が組まれ多くの方が来場されました。

メインイベント、「はやて&こまち&イタバシマスク VS アグー&守部宣孝&

中里哲弥」時間無制限 1 本勝負では、本イベントのキャッチコピー「寒さに負けるな野外プロレス祭り!!」の通り、寒さに負けない白熱した戦いに、子どもたちからの熱い声援、そして大人達からも元気な野次が飛び、終始大盛り上がりでした。

来場された子どもたち、地域の方の笑顔をみて、会社として地域社会への貢献を実感するイベントとなりました。

また、寒い中イベントにご参加頂いた皆様、ありがとうございました。（総務部/中根）



# 芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース開催



2015年12月6日(日)に芦ノ湖グリーンカップモーターボートレースが開催されました。パワーボートレースはエンジン総排気量と船の長さで細かくクラス分けされており(下表)、トーハツ船外機は2クラスで搭載されています。

| クラス      | 艇体長さ      | 主な搭載エンジン          | 出場艇数 | コース            | 周回数<br>又は時間 |
|----------|-----------|-------------------|------|----------------|-------------|
| V250     | 3.5m以上    | MFS20B            | 4    | Bコース<br>約1.2km | 15周         |
| V850     | 4.25m以上   | 2スト70Ps           | 4    |                |             |
| F550     | 2.75m以上   | M40C、MFS50A、MD50B | 17   | Bコース<br>約1.8km | 20周         |
| F3000    | 4.8m以上    | マーキュリー2500cc      | 7    |                | 30周         |
| V3000    | 5.7m以上    | マーキュリー2500cc      | 9    | Aコース<br>約10km  | 1時間         |
| OFF-OPEN | 35～50フィート | マークルーザー8200ccX2機  | 2    |                |             |
| OFF-1    | 30～35フィート | マークルーザー7500ccX2機  | 1    |                |             |
| OFF-2    | 24～35フィート | マーキュリー2500ccX2機   | 9    |                |             |
| OFF-4    | 21～35フィート | 4スト225Ps          | 1    |                |             |

本稿ではトーハツ船外機を搭載したレース艇の報告です。

17台と最もエントリーの多いF550クラスでは、8艇がトーハツ船外機を搭載(M40C:3機、MFS50A:4機、MD50B:1機)しました。このクラスは車のレースと同じスタート方式であり、信号が赤から青へ変わったらスタートです。信号が赤の時はエンジンを停止していなければならないので非常に静かです。後ろでレース艇を押えているスタッフも「信号が青になったら手を放す」という連携作業でレースに参加していますので、選手・スタッフとも心臓バクバク状態です。一方台数が多いために隣の艇との間隔が狭い状態でスタートするこのクラスは、接触事故が発生しやすく転覆する場合もあるので、大会本部は「とにかく事故が起きないで」と願いながらスタートを待ちます。

ところで、レース用のプロペラは重たいステンレス製であり、マウントラバーがありません。一般のエンジンはニュートラル状態でエンジンを始動させますが、エンジン回転速度が高い時にシフト操作を行うと駆動系部品を破損させてしまうので、レースではシフトを前進に入れた状態で始動します。ニュートラル時よりも負荷が高いためセルモーターで回る回転速度が低くなります。またEFIエンジンはスロットル全閉で始動するようにセッティングされているため、スロットルの開け方を間違えると始動できません。

静寂した湖面が青信号とともにエンジン音がうなり、レース艇がスタートしました。しかし5月の蒲郡レースで優勝したMFS50A搭載の17号艇杉原選手がスロットル操作を間違えたようになかなか発進しません。後程本人に聞いたところ「焦ってしまった」とのこと。

17号艇は最後方(17番)からのスタートになってしまい、先頭艇とは400m以上の差がついていま

した。しかし【トーハツエンジンMFS50A】を搭載した17号艇は、たった1周で6艇を、2/3周目で2艇ずつ、4/5/6周目で1艇ずつ、計13艇を追い

抜き7周目に入った時点で4位になっていました。上位3艇のトップスピードは17号艇と変わらないので、7周目から20周までは4位のままでしたが、前半の追い上げ方がとにかくすごかったので、トップ艇よりも17号艇に皆注目でした。この次はスタートを失敗しないようにお願いします。

尚、17号艇の杉原選手はF550の2015年度の年間チャンピオンとなり2016年3月6日(日)の横浜国際ボートショーで表彰されました。来年もトーハツ船外機での活躍を期待いたします。

V250クラスは4艇のエントリーで、13号艇の星野選手がトーハツ船外機MFS20Bで出場されました。成績は2位であり、次回に期待の持てる結果となりました。

芦ノ湖のレース結果や2016年度のレース予定は日本パワーボート協会のホームページで閲覧できます。<http://powerboat.jp/calender.htm>を是非ご覧ください。

芦ノ湖近くの箱根山はこの年の6月に噴火警戒レベルが【3】に引き上げられ、観光客激減という深刻な状況になりました。11月にはレベル1となりましたが観光客は減ったままです。地元が大変な時期にレースが行えるか関係者は心配していたのですが、パワーボートレースというイベントで地元を盛り上げたいと前向きな考えをされ開催に至りましたことをお伝えします。地元の皆様及び関係者の皆様、寒い中本当にお疲れ様でした。

国内でのパワーボートレースは50年以上の歴史があり、トーハツモーターボートクラブも初戦から参加し、何度も優勝しています。現在トーハツモーターボートクラブは出場していませんがオフィシャル(大会関係者)として協力しています。(技術部/菊池)



# 2016

# ジャパンインターナショナル

国内最大級のマリンイベント、「ジャパンインターナショナルボートショー 2016」が3月3日（水）から4日間、パシフィコ横浜と横浜ベイサイドマリーナの2会場で開催され、期間中の来場者数は約5万人に迫る勢いでした。

「“海” はじめの第一歩を応援！」をテーマに各ボートメーカーブースで釣りガール達が使い勝手の良いマリントイレや最新フィッシングウェアを紹介。これから海で遊びたいと考えている女性を後押しする企画が行われました。初の試みとして来場者による人気投票も行われ、目当ての釣りガールによるトークショーを熱心に聞いている姿が印象的でした。

最終日にはメインステージにて各ボートメーカー対抗で、「女性が海に出たくなるような」をコンセプトとしたプレゼンを繰り広げ、会場は大いに盛り上がりました。トータツブースでも人気釣りガールのりんかさんとゆいぽんさんを迎え TFW-25R の実釣体験を交えたトークショーを行いトータツボートの魅力を存分にPRしました。



# ナルポートショー in 横浜



また今年、船外機生産開始から60周年を迎えた当社では特設コーナーを設け、その長い歴史の1部を皆様にお見せするべく歴代の名機を展示。「OB2」をはじめとする貴重な船外機がずらりと並びました。共に展示しました昭和34年生産の名車オートバイ「ランペット SPORTS」のシンプルな構造に驚かれ新鮮に感じられている方や当時を思い出し懐かしんでいる方が多く見られました。

現行船外機モデルであるMFS、BFT、TLDIをシリーズごとに配置し、来場者に各々の特徴をPRしました。4月からエコスポーツファミリーの仲間入りとなるMFS8B/9.8Bモデルも先行展示し新たなトップカウルのデザインをお披露目。訪れた人々にトーハツの“今”を知って頂きました。

舟艇はライトウェイト&エコスポーティで人気のMFS50AをTFW17-Rに搭載し、トレーラーと共に展示する事でこの製品の機動力の高さをPR。一方でBFT90AをセットしたTFW25Rには最新魚探、スタイリッシュなバウパルピットそしてロッドホルダーなど艀装を施し、来場者へポートカスタマイズの1例を提案することが出来ました。

生産60周年を迎え、船外機のパイオニアメーカーである事をアピールすると同時に幅広く当社製品を通じたマリンの魅力を知って頂けた4日間となりました。

(マリン課/松下)



(有)ボートの新福商会

## 秋の商談会

桜島を望む鹿児島県垂水市で、地元密着でボート・船外機販売を営む(有)ボートの新福商会様が2015年11月21日(土)・22日(日)の両日、秋のボート・船外機展示試乗会を開催しました。

時期的に遅い開催となり客足が心配されましたが、初日から大勢のユーザーが訪れました。

トーハツでは、最新モデルのMFS50Aを搭載したTF-21STを展示、低価格で機能面も充実していることから高い評価を頂きさっそく見積り依頼が舞い込んでいました。

また、船外機はモデルチェンジした新型のMFS30Cを展示、もともと性能面で好評価のあるモデルだけあって、多くのユーザーの注目を浴びていました。

同店の社長をはじめ奥様、同店スタッフの皆様大変お疲れ様でした。

(マリン九州/榎本)



対馬農業協同組合

## 新春総合展示

今年もやって参りました!! 夏と冬の年2回の恒例行事!!

1月16日(土)・17日(日)の2日間で馬農業協同組合美津島支店駐車場で、新春総合展示会が開催されました。

展示物として、船外機・農機具・車・家電・布団・食品等様々なものを展示販売。展示機としてMFS9.9CL・MFS25CEFGの2台を展示。

初日は曇り空、2日目は昼頃から本格的に雨が降り出し生憎の天気にも関わらず、モデルチェンジしてからも好評のMFS25Cを熱心に品定めざるお客様や、真珠の養殖で以前MD50B2ETOLを搭載して頂いていましたが、船が大きく馬力不足もありMD115A2に寄せ換えて頂くことになりましたのも、対馬農業協同組合様のご協力のもと成約という運びになりました。

対馬農業協同組合様のご協力に厚く御礼申し上げます。

(マリン九州/平野)



## 山形市消防団 研修会

朝晩が冷え込み少しずつ冬の足音が聞こえ始めてきた11月28日(土)トーハツ本社にて山形市消防団様向けに研修会を行いました。人数は消防団員様36名、山形市消防本部総務課消防関係の方が2名の総勢38名の大所帯!到着後、「ブチアーナ」特製お弁当を召し上がっていただきました。まずは、座学として、会社紹介、製品説明、ポンプの講習を行いました。その後、外へと移動し、ポンプと水陸両用車のデモを行いました。



ポンプデモでは、VF63ASとVF63AS-Rを使用して中継送水を行いました。エンジン始動直後に皆様から「静かだなあ。」という声が漏れていたのが印象的でした。また、VF63AS-Rの中継モードで、自動でエンジンが始動した際にも感嘆の声が聞こえてきました。

続いて水陸両用車のデモです。皆様初めてご覧になる車両に興味津々の様子でした。また、実際に乗車体験もして頂きました。



最後に、研修ホールへ戻り質疑応答をして終了となりました。

短い時間でしたが私たちが勉強になることが多く非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

(消防車両課/白澤)

## 平成27年度 東北トーハツポンプ会冬季総会

平成27年度東北トーハツポンプ会冬季総会が去る1月21日(木)・22日(金)の両日に、仙台市内にある「ホテル佐働」で開催されました。

総会は、同ポンプ会の平間会長が挨拶を行い、震災後約5年が経過しようとしていますが、場所によっては復興していません。国に働きかけ復興予算を延ばす努力をしてほしい。

続いて、トーハツ代表取締役社長日頃から日頃の拡販に感謝しますと挨拶を頂きました。質疑応答では、新開発消防ポンプの開発を早急に実現という要望が多数ありました。

懇親会では、和やかムードで歓談し親交を深めました。

皆様には遠路ご出席を賜り誠にありがとうございました。

(防災東北/田中)



## 滋賀県甲賀市消防団様

2月22日(日)に滋賀県甲賀市消防団の幹部研修の中で駒ヶ根工場の視察に来て頂きました。当日の寒い気候に負けないくらい、日ごろから熱いトーハツファンでVF53ASを使って頂いております。今年度も既に7台を更新済みです。

工場見学では、まず船外機の組立ラインを見ていただき、自動化された組立工程や試運転の様子など非常に興味を持っていただきま



## 駒ヶ根工場視察

した。さらにポンプ棟へ移動し、ライン上で組み立てる様子と、運転場では実際の運転試験の状況を見ていただきました。

限られた時間での視察となりましたが様々なご質問を頂き、以前よりも増して消防ポンプの知識を深めて頂いた様子でした。

ご協力頂きました関係各所の皆様大変有難うございました。

(防災関西/田村)



### 一般社団法人損害保険協会 小型動力ポンプ付軽消防自動車寄贈

去る12月26日(土)、長野県上伊那広域消防辰野消防署にて一般社団法人損害保険協会より弊社の小型動力ポンプ付軽消防自動車寄贈されました。

辰野町消防団常備部に配備されました消防自動車は、毎年損害保険協会より消防機器の寄贈を通じ社会貢献および地域の消防力強化の為、全国の市町村・離島に寄贈されております。今年度は離島向けに7台、離島を除く市町村に10台、合計17台を寄贈致します。

式典におきましては、辰野町長をはじめ、北関東支部長野損保会会長、辰野町消防団長と多数の方が参加され納入式、入魂式とも無事に執り行われました。ポンプ取扱説明では関係者の皆様が熱心に耳を傾けていました。今後ますます防災意識が高揚することでしょう。

この度の納入にご協力頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。

(消防車両課/後藤)



### 和歌山市消防団向け VF53AS 7台口の納入

2月8日(日)に和歌山市消防団向けのポンプ付き軽四積載車の納入がありました。毎年トーハツの4サイクルを指定して頂いており、納入時の取扱い説明を行った際にも消防局の担当者だけでなく消防団員からも操作性と低騒音等の性能について非常に好評でした。ポンプの使用法やメンテナンスについて細かな質問も多くあり、消防団員のポンプや資機材の使用状況を知る貴重な機会となりました。

車両に多くの資機材を搭載し、またチェーンソー等の付属品もあり、消防団員の防災・減災に対する意識の高さを実感しました。

この度の納入につきまして、販売にご尽力いただきました有限会社和歌山防火協会様へ改めて厚く御礼申し上げます。

(防災関西/田村)



## 全国の救急隊員 消防救助の救急・救助関連のプロツールを展示

シンポジウム開催

昨年12月3日(木)~4日(金)に、札幌コンベンションセンターにて「第24回全国救急隊員シンポジウム」及び「救急資器材展2015 in 札幌」、12月18日(金)に、日比谷公会堂にて「第18回全国消防救助シンポジウム」が開催され、出展しました。

参加者は、「救急隊員シンポ」が約5,400人、「消防救助シンポ」が約2,500人と大盛況。

当社は、それぞれ救急若しくは救助用資機材を中心に隊員用装備等を展示し、準備した「防災機器総合カタログVol.2」は合計約2,000部近く配布する結果となりました。

特に、プライバシー確保の「クイックシールド」、曇らないゴーグル「ESSファイヤープロ」、エンジン音等対応の「キャップ付き耳せん」、ハンズフリーの「防水インターコム」、棒を差し込めば棒担架にもなる「メッシュ布担架」が好評でした。

次回の「救急隊員シンポ」は神戸コンベンションセンターでの開

催が決まっておりますが、「消防救助シンポ」は、日比谷公会堂が長期の大規模改修となるため、開催地未定となります。

(防災営業部 救急・救助用資機材担当/友田)



## 総務省消防庁向け車両納入

救助資機材・小型動力ポンプ搭載多機能車 (ワンボックスタイプ) 15 台  
 救助資機材・小型動力ポンプ搬送車 (軽トラックタイプ) 6台

昨年度、総務省消防庁様より受注いただきました、ワンボックスタイプの救助資機材・小型動力ポンプ搭載多機能車 15 台と軽トラックタイプの救助資機材・小型動力ポンプ搬送車 6 台を全国の消防、自治体様へ納入致しました。

軽トラックタイプは、小さな車両ですがレイアウトを工夫し多くの資機材が搭載できる設計となっています。また、軽自動車ならではの小回り、狭い道へのアクセスが可能であるため離島にも配備されました。

ワンボックスタイプは、多くの資機材を積み込み搬送することももちろん、収納機材を下ろせば多くのスペースが生まれます。車両後部には電動リフターがあり、空いたスペースに様々な物資や車いすの方も搭乗することができる仕様となっております。小型動力

【仕様】

| 車両タイプ<br>項目 | ワンボックスタイプ                        | 軽トラックタイプ       |
|-------------|----------------------------------|----------------|
| シャシ         | ニッサン キャラバン                       | ダイハツ ハイゼットトラック |
| 搭載ポンプ       | VF53/63AS                        | VF53AS         |
| 主な資機材       | 電動油圧コンピツール・エンジンカッター・チェーンソー・AED 等 |                |

(消防車両課/白澤)

ポンプや救助資機材だけでなく物資あるいは人員を搬送することのできる多くの用途のある車両となっております。この度の納入に対しご尽力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。



## 館林消防団様へ 小型動力ポンプ付資機材車を納入

去る2月28日(土)、冬の澄みきった青空の下、群馬県館林市にて3期連続3台目になる、小型動力ポンプ付資機材搬送車を納入いたしました。

初期消火から常備消防の後方支援を目的とした、充実した装備品に加え、操法活動にも力をいれていただく為、小型動力ポンプには操法大会でも活躍が期待できるVC72PRO IIが採用されております。

今回の納入に際して館林地区消防組合様並びに小曽根総合防災様には、厚く御礼申し上げます。

(防災中央/桑澤)



## 佐渡市 2,500ℓ水槽車納入

新潟県は朱鷺で有名な佐渡島の佐渡市に2500L水槽とVF53AS-Tiを組み合わせた水槽車を納入しました。

今まで使用していたローリー型の水槽車と違い、PP角型水槽を採用したおかげで外観もスッキリさせました。

さらには搭載ポンプが従来の2ストロークから4ストロークになり静粛性が飛躍的向上し今後の活躍に期待が出来ると思います。

今回の納入にご尽力頂いた佐渡市消防本部様並びに大昭商事様には厚く御礼申し上げます。

(防災中央/金子)



## 発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4  
 TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社  
 トーハツパートナー編集局  
 編集兼発行責任者 牧 邦治/青山 滋